

学校名 川越市立東中学校
所在地 川越市小中居278
電話 049-235-2731

1 本校の概要

本校は川越市の東部に位置し、周辺には田園が広がるのどかな環境である。昭和36年に旧南古谷中学校と旧古谷中学校を統合し、57年目を迎えた。通常・複式学級合わせて13クラス、生徒数372名の中規模校である。

生徒は素直で純朴であり、落ち着いた学校生活を送っている。「自ら学び考え、主体的に行動する心豊かな生徒」の学校目標のもと学習に取り組むとともに、体育祭や合唱祭をはじめとする行事にも積極的に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 読書に親しむ態度や読書週間に係る取組

本校では、図書委員会が中心となり活動している。

① 図書委員会便りの作成

「図書委員会のおすすめの本紹介」「先生からのおすすめの本インタビュー」「図書整理員による本の紹介」等の内容を定期的に発行し、各クラスに掲示している。



② 「図書委員会より」コーナーの設置

本校図書館内に、「図書委員会より」というコーナーを設置している。本にPOPを添えて並べたり、季節に合った本を選び抜いて並べたりしている。

③ 「秋の読書週間」に関する取組

全国で行われる「秋の読書週間」に合わせ、1ヶ月ほど読書の推進期間を設定した。その期間中に本を借りるとスタンプが押され、3・5・10個たまると、図書委員が作成した葉が贈られる、という取組を行った。

(2) 司書教諭・学校司書などを活用した取組

本校では、図書整理員が週2～3回勤務している。本

に関する知識が豊富な図書整理員と連携・協力し、様々な形で読書啓発活動を行っている。

① ブックトークの実施

4月には図書館のガイダンス、夏休み前には課題図書に関してなど、時期に応じてテーマを決め、ブックトークを行っている。1回に10冊程度の本を紹介している。ブックトーク後、本の貸出時間を設けている。

② 新着図書コーナーや本の案内の設置

図書整理員や図書委員が、定期的に本を入れ替え、利用する生徒が様々な本に触れる機会を作っている。



(3) 家庭や地域との連携

読み聞かせボランティア「レモン」「おはなしの森」に協力頂き、毎学期に1回ずつ絵本の読み聞かせや4月の大型絵本の読み聞かせ、9月には文化体験学習での「読み聞かせ」講座の講師をして頂いている。

3 成果と今後の課題

「本を手取る機会が増えるように」「本に親しみ、興味をもってもらえるように」ということを目標にして、様々な活動を行ってきた。特に「図書委員会より」コーナーは好評で、図書委員が作ったPOPを読み、本を借りる生徒も見られた。また、春のガイダンスや夏休み前のブックトークの後に必ず貸出時間を設けたり、長期休業中は貸出冊数を増やしたりすることで、5月・7月・12月の貸出冊数を増やすことができた。取組によって生徒が本に親しむ機会が充実したといえる。

4月	5月	6月	7月
74冊	137冊	114冊	570冊
9月	10月	11月	12月
53冊	71冊	81冊	124冊

【平成29年度 月別本の貸出冊数】

貸出冊数は増えたものの、長期休暇前以外の月の貸出冊数が伸び悩んでいる点は課題といえるので、増やしていきたい。また、貸出が9類に偏る傾向にある点も課題であり、社会や文化、科学系など、他のジャンルの本にも親しませたい。そのための取組や図書委員会の活動を工夫し、企画していきたいと考えている。